

『いまだ懲りない厚労省』

代表取締役 小池 修

明けましておめでとうございます。

早いものでこの記事を書いている今日はもう2019年1月17日です。

今年は、アメリカと中国の貿易問題や日本と韓国の外交問題など、安倍政権は何処を向いても四面楚歌の様子です。アメリカ在りきで進めてきた政策をよりによってアメリカの大統領に否定され、うまく進めていると思われた貿易問題を土俵上に挙げられそうで、安倍さんも落ち着かない正月だったのではないのでしょうか。

国内では厚生労働省が多忙を言い訳に、労働者の賃金や毎月の勤労調査において、手抜き統計調査を「修正」して、長年にわたりインチキ統計を発表していたことを白日の下にさらしました。調査対象の大企業の数字を隠して発表した影響は、雇用保険の過少支給や失業保険支給額にも影響が出ているようですが、その総額は800億円にも上るようです。

厚生労働省は過去に大きな年金問題を起こしていながら、懲りずに、年金の計算業務を下請けに丸投げし、その下請け企業が中国企業に違法に丸投げしていた事件が発覚した時も、分かっているが事実を隠蔽していました。ついこの間も障害者雇用率でまったくのたため雇用者数を申告したことがバレたばかりです。

何度国民を欺けば気が済むのでしょうか。これが国民の「ひと・くらし・みらいのために」と歌う役所のすることでしょうか。私たちはこのまま黙っていいのでしょうか。

真面目に働く人が報われる国にしてほしいものです。



『2019年』

専務取締役 池田 知恵子

平成31年が明けました。新年のお祝辞を申し上げます。

平成31年は4ヶ月のみ5月1日からは第126代新天皇の元、新元号となりますね。なによりご退位後、上皇となられる今上天皇が、こののち心静かに日常をお過ごしただけのお健やかであってほしいと願います。

さて、今年はいのしし年です。いのししは子たくさんで子煩悩なんだとか。2019年結婚率があがって出生率があがって人口大幅増なんてことになってくれたら嬉しいですね。

政府が主導する「働き方改革」少子化を背景とした持続可能な経済社会の確立のために、1億総活躍社会の実現なんて言いながら、一方で働きすぎるな、雇用形態に関わらない均等・均衡待遇確保なんて企業にばかり負担を押し付けているのが現状です。働く側の皆さんもしっかりと厳しい目で派遣元企業の見定めや政府政策などへの関心度を上げて一緒に見守っていくことが肝要と思われます。今年もよろしく願い申し上げます。

LIFE WORK

Crave卒業
おめでとうございます

この度、世田谷地区派遣スタッフの、

〇〇さん（元板橋ドライバー）
△△さん（元板橋工場勤務）が

正社員として正式採用されました。

益々のご活躍をお祈り申し上げます！

※名前・勤務地は伏せさせていただきます。

ちょっとほっこりする話



この前スーパーでレジがめちゃくちゃ混んで

「レジの応援お願いします」

ってアナウンスが流れた。するとそれを聞いた4歳位の女の子が小さい声で

「がんばってえー(・ω・)」

って言って、レジの人が

「ありがとね、

おばちゃん頑張るよ(*^^*)」

って言っててメッチャ和んだ



皆さんが安全に仕事をして頂くために作業員、運転手、工場作業で2018年に起こった事故&ヒヤリの事例を紹介いたします。

作業員 NO.1

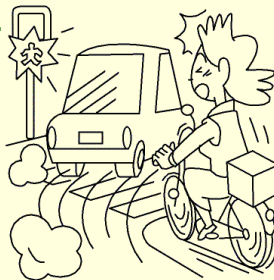


トラックの荷台に荷物を積む作業中足があおりに引っ掛かり転倒した。

対処法

1. トラックの荷台に上がる時は、まず足元を整理し安全に立てる場所を確保する。
2. 積荷が段ボールや古紙などの場合は積荷の上に乗らない。(滑りやすい)
3. 雨が降っている時や体調が悪い時は一人作業はしないなど特に注意する。

ドライバー NO.1

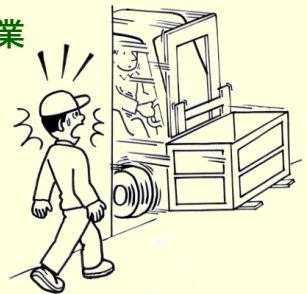


青信号の交差点を右折した際、横断歩道を走ってきた自転車に気が付かず接触しそうになった。

対処法

1. 右折する際は、対向車だけではなく、その先に横断歩道があると認識する。
2. 右折信号で進行した際も信号無視の自転車、歩行者に注意する。

工場作業 NO.1



フォークリフトで運搬中、安全確認せずに通路を通過、通路を歩行中の作業員と衝突しそうになった。

対処法

1. 乗車中に歩行者用通路を横断する際は、必ず一時停止し指差し確認を行う。
2. 可能な限り作業員が通る通路は横断しない。



最近よく聞く

『あおり運転』

されたことがあるドライバーは7



2017年6月に東名高速道路で発生したあおり運転による死亡事故をきっかけに、2018年1月、警察庁は全国の警察にあおり運転などの悪質・危険な運転に対して、危険運転致死傷罪・暴行罪などを適用し、厳正に捜査するよう通達しました。これにより、事故に至っていない場合でも、あおり運転による暴行や脅迫などの事実が認められると、免許停止などの行政処分を行えることになりました。

みなさんはあおり運転された経験はありますか？

ドライバーの多くがあおり運転をされた経験が「ある」と答えています。

なかでも、「車体を接近させて、もっと速く走るように挑発された」、「車体を接近させて、幅寄せされた」といった、「車体を接近」させる行為が多いことがわかりました。

あおられた原因ってもしかして・・・思い当たるきっかけは

- 「車線変更をした」
- 「追い越し車線を走り続けた」
- 「法定速度を守って走っていた」



走行速度が遅い、割り込みや無理な追い越しをされたなどと相手のドライバーに感じ取られてしまうことが、あおり運転に巻き込まれる要因になっているようです。

また、あおられやすい車の多くは、軽自動車やコンパクトカーなどの小さな車です。それらの車には、大人しい人が乗っていて、あおり運転をしても反撃しないだろうという、弱い者いじめをする時と同じような読みがあるのだと思います。特にあおり運転の標的になりやすい車に乗っている人は、車線変更や追い越し車線を走る時には十分な注意が必要です。

あおり運転によるトラブルに巻き込まれそうになったら、挑発にのらず、交通法規を遵守して冷静に対処することが重要です。